

## 第1回 民間技術説明会 (技術概要)

番号	業者名	技術名称	技術概要
1	プレミックス船工法協会	プレミックス船工法	<p><b>〈技術の概要〉</b> 専用のプラント船を用いて軟弱な浚渫土をセメントなどの固化材と攪拌混合して所定の強度と流動性を有する固化処理土を製造し、埋立材や護岸の裏込材料等として使用する工法。</p> <p><b>〈特徴〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●従来技術との比較           <ol style="list-style-type: none"> <li>①事前混合処理工法 (PREM工法) との比較               <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象土砂は砂質土 (PREM)、粘性土～細砂 (プレミックス船)</li> </ul> </li> <li>②管中混合固化処理工法との比較               <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数船 (圧送船、固化材船、プラント船、打設船など) が必要 (管中混合)、専用船1隻で施工可能 (プレミックス船)</li> <li>・大量急速施工 (800m<sup>3</sup>/hr) (管中混合)、400m<sup>3</sup>/hr (プレミックス船)</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>●特徴           <ul style="list-style-type: none"> <li>・浚渫土 (粘性土から細砂) を大量に固化処理することが可能</li> <li>・作業スペースが狭い場所での施工が可能</li> <li>・揚土から処理土の製造、打設までの一連の作業を専用船で行なうため、比較的作業スペースが狭い場所での施工が可能</li> <li>・処理土は流動性を有し、ポンプ圧送が可能で締固めを必要としない</li> <li>・最大圧送距離は、300m (細砂) ~400m (粘性土)</li> <li>・処理土の強度や流動性は、固化材添加量や加水量の調整を行うことで、任意に設定することが可能</li> </ul> </li> </ul>
2	オリエンタル白石株式会社	Kui Taishin-SSP工法	<p><b>〈技術の概要〉</b> 道路橋の耐震性を確保するために、鋼板を巻き立て圧入することで、施設を併用したまま補強が可能となる工法。棧橋などの増深化、耐震化に貢献できる技術。</p> <p><b>〈特徴〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●従来技術との比較           <ul style="list-style-type: none"> <li>・上部工の撤去新設を含むエプロン上の工事を必要とせず、施設を併用しながら杭体を補強することができる。</li> <li>・大規模な仮設 (仮棧橋、仮締切) を必要とせず、経済性 (NETIS掲載値49.42%向上) が向上する。</li> </ul> </li> <li>●特徴           <ul style="list-style-type: none"> <li>・分割された資機材により施工を行うため、狭い桁下空間でも施工性に優れている。</li> <li>・圧入による鋼板巻立工のため、開削することなく土中部の杭体を補強できる。</li> <li>・圧入により鋼板巻立工のため、掘削土量を最小限にでき、水質汚濁など周辺環境に与える影響が少ない。</li> </ul> </li> </ul>
3	富士金網製造株式会社・株式会社ブルーエポック	ロングライフマリンマット	<p><b>〈技術の概要〉</b> 海水域で中長期の使用が可能な高耐久性ポリエチレン被覆製ふとん籠 (蛇籠) で、水中構造物マウンド被覆工、捨石飛散防止工、消波ブロック先掘対策等で利用可能。</p> <p><b>〈特徴〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●従来技術との比較           <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚被覆線採用により、海水域での耐食性を確保 (腐食防止)</li> <li>・被覆厚さ: 従来の各種被覆線材に比較して、2倍以上の被覆厚さを実現</li> <li>・10年以上の長期使用を見込んだ場合、通期のロングライフコスト換算にて約35%以上の費用低減が可能 (亜鉛めっき製品との比較)</li> </ul> </li> <li>●特徴           <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚被覆と紫外線劣化対策 (カーボンブラック採用) より、海水域での耐久性確保</li> <li>・施工性に富む、短期での集中製作、集中据付施工が可能 (ブロック製品比較)</li> <li>・海洋環境での周辺環境への同化適用力 (増殖器・漁礁的な機能も有する)</li> </ul> </li> </ul>